

あいあいあい

生活協同組合
COOP あいコープみやぎ
発行

生活協同組合あいコープみやぎ理事会
仙台市宮城野区日の出町3丁目4番17号
TEL.022-284-7241 FAX.022-284-6973
<http://www.mamma.coop>



9月8日、大郷みどり会の無農薬交流田

産直米を食べて

持続可能な農業を守ろう！

理事 木口裕美

新米の季節になりました。

私は「お米は、八十八もの手間暇がかかった作物、だからこそ大切にいただくんだよ」という祖母の言葉を思い出します。食卓に出された命を大切にすることは、自分自身の命を大切にすることにつながります。日本人が長く食べてきたお米は、命を大切にすることを育ててきたと思います。

この夏、各地区の地区委員のべ49人が県内3産地を訪ね、産直米が生産者の汗と努力の賜物であることを実感してきました。あいコープの産直米はネオニコチノイド系農薬を使わずに栽培されています。作物が育つ夏は、雑草も育つ時期。除草剤を使用しないという事はどういうことか実際に目でみて、草取りを体験し、大変さを痛感しました。また、各産地で土づくりに力を入れ、地域資源を生かした堆肥やぼかし作りを研究していました。

生産者全員が生態系を尊重し、持続可能な農業に取り組んでいること。そして、組合員が産地に足を運ぶことにより、今の米作りの置かれている状況を生産者とともに共有し信頼関係を築き、これからも持続する仕組みを模索すること。それが「あいコープの産直米」なのです。

今農業を取り巻く環境は大きく変化しています。米価、消費量の低下で作り続けることが難しくなり、温暖化や豪雨などの異常気象により作業の過酷化も深刻です。私たち組合員は安全・安心なものが欲しいと望むだけでよいのでしょうか。行動も必要です。あいコープの産直米の中身を知り、利用することが行動の一步です。産直米を「つくる」ことを応援し、「食べる」ことにつながり、命を大切にすることを育て、持続可能な農業を守っていきましよう。

5年間1万件の測定データを踏まえて

2016年10月から放射能自主測定体制を変更します。

ゲルマニウム測定器による精密検査により重点を置き、安全安心を更に確実なものにします。

あいコープみやぎは2011年から放射能自主測定を開始し、『まずNaIシンチレーション測定器(東北大学)による一次モニタリング(全品スクリーニング検査)を行ない、汚染の疑いがある品目が見つかったらゲルマニウム半導体(Ge)測定器による二次モニタリング(精密検査)を行なう』という体制で、5年間で1万件を超える検査を行なってきました。

この5年間に蓄積した1万件の検査データから、セシウム検出可能性のあるいくつかの品目を特定することが出来るようになりました。一方、その他の多くの品目からはセシウムは検出されないということもわかってきました。

そこで今後は、Ge測定器による精密検査に、より重点を置いて実施します。具体的には、過去5年間の検査で検出事例があった品目および自主基準が10Bq/kg以下の品目(=食生活での摂取量が多い品目)等を対象とし、これまで年間約130件であったGe測定器検査を年間200~300件に増やします。一方、NaIシンチレーション測定器による検査は、新規取扱商品などを対象とするにとします。

今後、Ge測定器で重点的に精密検査していく品目は、牛乳・乳製品、豆腐・納豆など大豆製品、米、

お茶・ジュースなど飲料、静岡以東の柑橘類、レンコン、栗、根わさび、干し芋、原木椎茸、三陸産の魚介類などです。引き続き「放射能測定ニュース」やあいコープホームページで測定結果を公開していきます。これにより、よりリスクの高い品目に集中して精密検査する体制とし、組合員の安全安心をさらに確実なものとしします。

図解 【何が、どう変わるのか?】

5年間の検査で一度も検出がない品目

自主基準 25Bq/kg の品目

5年間の検査で一度でも検出がある品目

自主基準 10Bq/kg の品目

これまで

全品スクリーニング検査 (NaI 測定器)

今後

今後、NaI 検出器による検査では検出される可能性は極めて低いと考えられるため、全品スクリーニングではなく、新規取り扱い商品などに対象を絞る。(NaI 測定器)

これまで

精密検査 年間 130 件 (Ge 測定器)

今後

精密検査 年間 200~300 件 (Ge 測定器)

増える!

市民測定室と新たな提携で測定



ゲルマニウム半導体測定器 (ORTEC社 GEM-20)

検出限界/核種ごとに1Bq/kg (1kg 検体を1時間測定の場合)

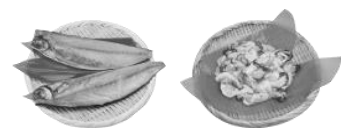
*放射能測定の専門家を検証し、測定器の正確さを確認しています。

2016年10月以降の放射能測定は「小さき花 市民の放射能測定室」(仙台市太白区)に依頼します。2011年に「一番小さき人、こまっている人、必要としている人のための放射能測定室」として市民のカンパによって開設されて以来、多くの市民が持ち込む食材等の放射能を測定し、その情報を公開して、市民の信頼を集めてきました。



重点的に精密検査を行う品目

- 牛乳・乳製品
- 豆腐・納豆などの大豆製品
- 米
- 茶・ジュースなど飲料
- 静岡以東の柑橘類
- レンコン
- 栗
- 根わさび
- 干し芋
- 原木椎茸
- 三陸産の魚介類など





パン生地を丸めて成型作業をしています

9月5日に食パン開発PTのメンバーが、食パン開発のパートナーであるパン工房・は・わ工場とわ・は・わの米粉製粉所の見学に行きました。
 私はこの春地区委員になり、地区企画で生産者にお会いした事はありませんでしたが、生産現場に足を運び作業をしている様子を見学したのは初めてで新鮮でした。作業されている利用者さん達がとても生き生きとして印象的でした。

わ・は・わの米粉パンは、大郷町の契約農家が栽培したお米を丁寧に製粉し、その米粉を使って1週間以内にパン



櫻田真悦施設長(左端)と食パン開発プロジェクトチーム

東北の小麦粉と大郷の米粉で作った、しっとりふわふわの「あいコープ」といえば食パン!」と言ってもらえるような美味しい食パンの完成を目指して食パン開発PTメンバーがひとつになつていきます。どうぞお楽しみに!

青葉B地区 柏倉舞子

食パン開発プロジェクト報告
 目指すは『しっとりふわふわ』 美味しいパン
 パン工房・は・わの製造現場を確認しました

地区委員、理事と商品部で結成したPB食パン開発プロジェクトチーム(PT)が、より多くの組合員に愛される食パンの開発に取り組んでいます。パートナーとして選定されたパン工房・は・わ(大郷町)の工場をPTが見学した様子を報告します。

復興へつながる人と人との絆

4月の発災直後に緊急支援として熊本入りしてから3か月過ぎた8月、第2次支援活動のため、あいコープ役職員6グループ12名が入り替わりで5週間にわたり熊本現地に伺いました。

被害の大きかった益城町では、断層に沿って倒壊した家屋が、発災直後のまま8月になってもいまだに解体もされず、東日本大震災直後の様子が再現されているかのようでした。

熊本地震第二次現地支援活動報告



解体されないままの倒壊家屋



引越しのお手伝い



牛丼の炊き出しを行いました



仮設住宅でクーラーの取り付け作業

4月発災当時に2,000台もの車が停まっていた「車中泊」の避難場所は、8月になると数こそ減ってましたが、未だ「車中泊」生活を余儀なくされている方もいらっしゃって、駐車場所から強引に退去させられるなど新たな問題が発生していました。

5年前の震災で私たちは「人と人の絆が復興へとつながる」ことを知りました。今後も熊本の皆さまの復旧復興をお祈りすると同時に、被災者に寄り添った支援をしていければと考えています。

事業部供給課チームリーダー 鈴木利成

3R の優先順位は

Reduce(削減) > Reuse(再利用) > Recycle(リサイクル)

あいコープみやぎでは、自然環境保全を理念のひとつに掲げています。皆さんにお届けする商品は、肉や魚からトレーを廃止するなどプラスチックの削減に取り組んでいます。また商品の容器・包装材には回収して再利用しているものも多くあります。8月30日に開催した環境学習会では、その活動の重要性を再認識しました。そしてとりわけ使い捨てプラスチックが海を汚染し、そこに暮らす生きものにまで被害が及んでいることを学びました。

プラスチックの海!



高田教授

8/30(火)、エルソーラ仙台大研修室で高田秀重教授(東京農工大学農学部環境資源科学科)を迎えて環境学習会「化学物質による海の汚染 合成洗剤、環境ホルモン、プラスチックと私たちの暮らし 環境に残留する化学物質」を開催しました。この日は観測史上初の台風東北上陸という悪天候でしたが、16名が参加し、世界で問題になっている海洋プラスチックについて学習しました。



マニラ湾



東京・荒川



菖蒲田浜

現在、私たちは年に一人数十kgのプラスチックを消費しています。そのうち半分は容器包装で、ペットボトルは100本程度、レジ袋は300枚消費しているそうです。そして、ゴミ収集されずに路上や地面に落ちているプラスチックは雨で流され、川を流れて海に運ばれます。海水浴の時などに捨てられたものだけではなく、ポイ捨てされたものが主な発生源です。これらはやがて風化して粉砕され、世界中の海を漂い、海洋生物が誤食をするなど大きな問題となっています。まずはきちんと分別してポイ捨てはしないこと、プラスチック製品をなるべく使わないこと(削減)を心がけることが大切です。高田教授は、『大地は子孫からのかりもの』というインディアンのことわざを引用し、「残留性のあるものを地球に残さないことが求められます。今、有害かどうかグレーだとしても対策をとることが大切です。」というメッセージを下さいました。

大地は祖先から引き継いだものではない
子孫から借りているものなのだ

プラスチックを誤食する海洋生物



ウミガメの胃の中から見つかったプラスチック



北太平洋で海鳥12個体を分析したところ、全ての個体の消化管内からプラスチックが検出されました。海洋プラスチックは有害化学物質を吸着しており、誤食による生体への影響が懸念されます。

資料画像...高田教授講演会資料より抜粋

アメリカインディアンのことわざ

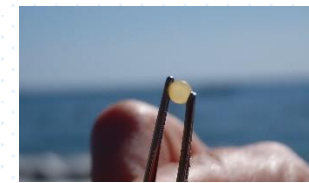


しょうぶ た はま 菖蒲田浜海水浴場のマイクロプラスチック調査



高田教授、研究生3名、あいコープから5名が参加

- ◀ 調査の様子
- ▶ 砂にプラスチックが混じっています
- ▼ レジンペレット



9/10(土)、宮城県七ヶ浜町にある菖蒲田海水浴場で行われた高田教授のプラスチック調査に参加しました。よく見ると5ミリほどのマイクロプラスチック(プラスチック製品の中間原料・レジンペレット)が砂に混じってあちこちに落ちています。ペレットの形状で輸送され、その後加工されて色々なプラスチック製品になるそうです。輸送中にこぼれ落ち、それが川や海に流され海岸にたどり着きます。もしかしたら仙台港が近いので、陸上げの時やトラッ

クに積むときにこぼれて、菖蒲田浜に打ち上げられている可能性もあるとのことでした。黄色に着色したものほど、海での滞留時間が長く、様々な物質(有害化学物質のPCBやのニフェノール等)を吸着しているそうで、高田教授は今回採種したペレットに何がどれくらい含まれるのかを研究室に戻って調べるそうです。結果が出たら教えて頂くことにしました。今後もマイクロプラスチックの問題に積極的に取り組んでいきたいと思ひます。 理事 佐藤美恵

ご存知ですか? あいコープみやぎの リユース・リサイクル

再利用、再資源化するために、次のものを回収しています。ぜひご協力ください。

デポジット(預り金)ビン

000895 デポジット回収番号



このマークのついている商品が対象です。

デポジットマークがついた商品の空きビンは返却してください。返却の際、注文書特別企画欄に、000895と本数を記入してください。次回の請求で、20円を返却します。

R(再利用)ビン



このマークのついている商品が対象です。

Rマークがついている商品は、空きビンを再利用しています。軽く水ですすいでご返却下さい。配達時に回収します。

- ①すすいで ②フタを取って ③ラベルをはがさなくてOK

たまごパック



必ずあいコープの卵パックだけを返却下さい。あいコープの卵パックは非塩ビ系のPETです。他の素材のパックが混ざると再資源化できません。

この他にも、保冷箱の内袋や注文書が入っているポリ袋、注文書も回収しています。



牛乳パック



青果用ケース



納豆などの発砲トレー



トマトの箱



卵3kg

報告

伊達美味マーケットに出展
9/13(火)~9/15(木)



9/13 まるご食品の参加日

サンモール一番町で開催された伊達美味マーケットに、2度目の出店をしました。参加生産者は『まるご食品』、『花兒園』、『パン工房わはわ』の皆さんです。通行者だけでなく、組合員も多く訪れ、あいコープの良さを広める機会になりました。

アメリカで薬用石けんが販売禁止

9月2日米国食品医薬品局(FDA)は、日本では「薬用石けん」と呼ばれている殺菌剤(トリクロサン・トリクロカルバン)を含む石けんの販売禁止を発表しました。これは石けんに殺菌剤を添加しても殺菌効果が良くなる根拠はないとFDAが判断した結果です。また、殺菌剤入りの薬用洗浄剤の多用は家庭から殺菌剤を不要に流すことでもあり環境に良くないと指摘する意見もあります。石けんも殺菌剤無添加で。

連載



あいあいファームわ・は・わ田尻 白鳥健成

BM全国大会に向けて あいコープ BMの人々

あいあいファーム わ・は・わ田尻ではBMW技術を活用しています。

あいちゃん牧場では、豚の飲水(0.1%希釈)や豚舎の洗浄水、畑への噴霧、えひめAIという有用菌液(餌に添加)の溶媒として、様々な用途でBM活性水を活用しています。また独自の取り組みとして、施設から排出される糞尿に活性水を加えて曝気し、生成された上澄み液を再び活性水プラントに流入させるという循環モデルを構築しています。このモデルにより糞尿の多くは分解され、糞尿残渣処理によって生じる環境負荷を低減すると同時に、動植物にとって「いい水」へと生まれ変わります。これからもこの技術を積極的に活用し、環境に配慮した循環型農畜産による障害者の活動の創出と、安心・安全な食肉、野菜の生産に取り組めます。

わだいの たねまき



エコは

『ケチる』のではなく『楽しむ』

9/4 仙台市エコフェスタ報告



大人気！
手づくりソーラークーカー

9月4日(日)、勾当台公園市民広場でエコフェスタ2016が開催されました。あいコープからは脱原発エネルギーシフト委員会がブースを開き、太陽光でお湯を沸かすソーラークーカーの工作教室などを行いました。生憎の曇り空でしたが、時折表れた太陽がデモ用のソーラークーカーにかけられたヤカンを温め、触ったお客さん達から驚きの声！

子どもたちも興味を持ち工作に参加してくれたので、「持ち帰った作品で是非、晴れた日に実験してみてね！」と手を振りました。



もぐもぐミニウイナーの
試食も展開

コンロで沸かせば済むものを、あえてソーラークーカーで沸かすその体験で、環境のための義務でもなくお金のためのケチでもない『面白い！楽しい！』を見いだせたら、きっと日々の行動が自ずとエコに向いていくと思います。エネルギーも含む、身の回りの色々なものが、違った見え方をするでしょう。エコフェスタではそんなエコを楽しむブースが沢山ありました。会場は大盛況。人々のエコへの関心がまたアップしたと感じました。

理事・鈴木真奈美

9/9
(金)

理事会・共生会幹事会 交流報告

あいコープと生産者の絆を更に強く！



新メンバーになって初めての顔合わせ

会の挨拶のあと、まずは参加者全員でいただきますをして、ゆうあんどあいのお弁当を食べながら自己紹介を行いました。さすがに幹事の皆さんはこれまでも組合員との交流に積極的に取り組んできた方ばかりなので、お話しも上手でした。

続いて生協理事の自己紹介では夏の産地交流の感想を交えながら、生産者ともっと交流を深めようという「連絡するのに都合のいい時間帯は？」という実践的な質問や、子どもの頃の食卓の思い出や家業を継ぐ思いを知りたいなど次々と質問が出されていました。

あいコープと生産者が築いてきた絆を、新しい世代が引き継ぎこれからさらに強くしていく一歩となった交流会でした。

9月9日、日の出町センターであいコープ理事会と共生会幹事会との交流昼食会が開催されました。今年度は生協と共生会双方で執行部の世代交代が済み、理事・幹事合わせて25名中12名が新人となつています。そこでまずお互いの気心を知り合う機会としてこの交流会が持たれました。

郷右近秀俊(大郷みどり会)共生会会長から開

理事会議事録抄

2016年9月6日(火)

▼あいコープみやぎ「決裁基準表」を承認した。▼9/23「やつペリリング園地見学交流会」企画書を承認した。▼

10/18「冬支度カフェ」企画書を承認した。▼Wa! わあ祭り実行委員会からの報告と提案を承認した。▼「放射能問題支援対策室いずみ」の甲狀腺エコー検査に協力することを承認した。▼12/3「今中哲二氏講演会」企画書を承認した。▼食パン開発PTからの報告と提案を承認した。▼「イベントと組合員活動の連携」関連の報告と提案を承認した。

組織概要 (2016年8月分)	
【組合員数】	12,853名
【供給高】	150,947千円
【一人実利用高】	5,031円/週
【出資金】	1,085,885千円



8/20
(土)
報告

あいぐらんどプラス
職員が大郷農業体験

あいコープの「安全でおいしい」を
もっと皆さんにお伝えしていきます



と。一般的な農家さんはスーパーに野菜を売るために、農産をたくさんかけて「見た目の良い」野菜を作ります。あいコープの野菜で最も重要なのは、「安全でおいしい」こと。

今回の体験を通して、あいコープの生産者の野菜や米とスーパーに並んでいる野菜や米とは根底から違う事を学びました。今後も生産者の方々の努力によって生産された「安全安心」を、もっともっと組合員さんにお伝えしていきたいと思えます。

太白・仙南チーム 洗平隼人

8月20日、職員26名が大郷みどり会で農業体験をしました。みんなでネギを240本収穫し、根や先端、外葉を取り除いて重量をはかり、テープ留めして組合員さんにお届けする状態にしました。



あいコープを勉強中！ 次世代リーダーを目指して



あいコープの創設者である小野瀬前理事長を講師に、中堅職員5名が「生協とは？あいコープとは？」を学ぶ場を設けて頂きました。現在は、計画をたてて自分で遂行し、進捗を点検しながらさらに向上させていく「仕事のやり方」を学んでいます。そこで私達はゼロからノウハウを学び、次世代のリーダーとしてあいコープを支え築いていけるような人材となるべく成長していければと考えております。

事業部青葉Aチーム 安藤孝平

編集後記

ネオニコチノイド系農薬を使わないあいコープ生産者の田んぼには、たくさん生き物がいます。最近はいま見かけなくなってしまうトンボも飛び交っています。

その様子を皆さんに伝えたくて今月号の表紙の写真を撮りに行ったのですが、この日は気温が高く、まだトンボは来ていませんでした。いつか、そんな景色を皆さんにご紹介できれば、と思っています。でも、イナゴはたくさん飛び回っていますよ。

広報担当理事 高野 恵美子

●機関紙あいあいあいのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、配送もしくはFAX(022-284-6973)にて、あいコープみやぎ理事会広報宛にお送り下さい。

組合員の皆さんの『つばやき』も大募集中！

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「よつてがいん」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。

個人で利用できるサービスもあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

組合員が利用できる電話相談

- 10/11 年金相談
相談員：社会保険労務士 兵藤政行氏
相談時間：13:30～15:30
- 10/11 法律相談
相談員：弁護士 松澤陽明氏
相談時間：13:30～15:30
- 10/18 ぐらしの相談
相談員：消費生活専門相談員 加賀淳子氏
相談時間：10:30～12:30
- 10/18 子ども相談
相談員：宮城教育大学教授 菅井裕行氏
相談時間：10:00～12:00
- 10/21 思春期相談
相談員：臨床心理士・スクールカウンセラー 北條貴子氏
相談時間：9:30～11:30

電話相談のお申込みは
ジョイケア事務局へ

受付専用
022
284-7277

平日 9:00～17:00

◎各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。随時受け付け可能です。

◎予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話します。

ジョイケア利用状況 (2016年7月分)

ささえあい(保障)	0件
たすけあい(ケア)	48件
集団託児	19件
慶弔・出産	10件
電話相談窓口	4件
計	81件

組合員が個人で利用できるサービス

- 1 たすけあい
- 2 集団託児
- 3 電話相談
- 4 ささえあい
- 5 慶弔



●9月号のつばやきを読んで…私としては、組合員さんが皆うるさい！のがあいコープのいいところと言いたい。青葉区・平井さん

10月30日 日 10:00~14:30

Wa!わ祭り2016

入場無料



今年も
楽しい
イベントが
たくさん!

会場:サンフェスタ 仙台卸商センター産業見本市会館

パスちゃん

今年のWa!わ祭りも、趣向を凝らしたイベントが盛りだくさん!
おいしい商品が並ぶブースは約60店。ちょっとためになる環境ブ
ースもあります。家族で楽しめるお祭りに、是非ご来場ください。

農産〇×クイズ

(11:30~ステージ前)



決勝で上位入賞すると豪華賞品を進呈!
あいコープならではのマニアックな問題も...?
みんなで農産クイズチャンピオンを目指しましょう!

新米食べ比べスタンプラリー

3産地(大郷・迫・七郷)のブースで新米を食
べて、全てのスタンプを集めたら、抽選箱へ!
食べ比べてお気に入りのお米を見つけてみませんか?

かくれパスちゃんを探せ



会場内に隠れている、パスちゃんマークを
全て探見つけたら景品をプレゼント。

あいコープ ラブコール試食会

お祭り初の試み!
皆さんの食べてみたい!を集めた試食ブース。
気になっていた商品を食べられる貴重なチャンスです!



あいコープ ふくしま発 「時短・増量・コラボ」の ドライカレー登場!

あいコープふくしまが取り組んでいる「時短・増量・コ
ラボ」メニュー。その中のひとつ、ドライカレーが試食できま
す。手早くリーズナブル、あいコープの食材もいろいろ使
えておしゃれな一品です!

開発中!食パン大試食会

あいコープは今、プロジェクトチームを立ち
上げてPB食パンを開発しています。多く
の人に愛される食パンを完成させるため
に、皆様のご意見をお聞かせください!



Calendar

今後のイベント

10/18火

脱原工ネシフ委員会
冬支度カフェ

場所/ 日立システムズホール 和室1・2
時間/ 10時~12時

11/18金~19土

震災から5年、
「土」「人」「もの」「地域」作りについて考える
~自然環境を基本とした東北の再生を願って~
第26回BMW技術全国交流会

基調講演/ 赤坂憲雄氏
「湯化する世界のほとりで」
場所/ ホテル松島大観荘

委員会の予定

10/18火

泉B地区委員会
ちょっと気になる添加物のおはなし

場所/ 桂市民センター 調理室
時間/ 10時~12時30分

10/20木

宮城野地区委員会
ナチュラルおそうじ

場所/ 宮城野区中央市民センター 調理室
時間/ 10時~12時

11月

商品学習会
秋のフォーラム
10地区で開催

地区委員さん募集中! 一定例会見学も受付中—

地区委員会は

楽しい!
おいしい!
学べる!!

あいコープの仲間だから
本音トークができます。

お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email soshiki@mamma.coop

(担当: 組織運営室長 豊嶋)

